

平成 30 年度 第 2 回 長野市社会福祉審議会 会議録

日 時	平成 31 年 2 月 12 日（火） 午後 3 時 00 分～午後 3 時 47 分
会 場	ふれあい福祉センター 5 階 ホール
出席者	委員 21 名（欠席者 3 名） 事務局 11 名 報道関係者 2 社 傍聴者 0 名
次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 あいさつ 3 新委員紹介 4 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 児童福祉専門分科会報告 <ol style="list-style-type: none"> ア 平成 31 年度 長野市の保育所等保育料（利用者負担）について イ 第 2 期長野市子ども・子育て支援事業計画の策定について (2) その他 5 その他 6 閉会
議事	<ol style="list-style-type: none"> 4 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 児童福祉専門分科会報告 <ol style="list-style-type: none"> ア 平成 31 年度 長野市の保育所等保育料（利用者負担）について 専門分科会長から審議結果について報告があり、事務局から補足説明があった。 <p style="margin-left: 2em;">【質疑応答】</p> <p style="margin-left: 2em;">委員：（資料 1＞別紙 1） 附帯意見のなかの「(1) 保育所等における給食の提供を教育・保育の一環であることから、今般の無償化の対象にならない食材料費について国の水準を上回る負担軽減を図るよう努めること。」この意見はたいへんありがたい。この保育所等の「等」の中には幼稚園、認定こども園も入っているものと認識してよろしいか、確認させていただきたい。</p> <p style="margin-left: 2em;">事務局：基本的にはそのように理解していただいて結構である。それぞれの園には定数があり、入所調整しているため、必ずしも第一希望の保育園に入れるわけではない。第三希望の園にま</p>

で入れないといった場合は、保護者に園を提案して入所いただいている。食材費は、施設ごとに決めているので、第一希望の保育園と提案した園で負担いただく額が違い、不公平感が出ることもあると思われる。また、負担軽減を行うとすれば、公平性の観点から、保育園、幼稚園、認定こども園でも差がないようにやる。ただ、国の水準を上回るようにすると、その分を長野市が負担するということになる。影響額等を精査したうえで、議会とも相談し審議会で議論しながら、どうするか考えたいと思っている。給食費は、少なくとも公立の保育園は一律の額になるはずである。そのようなご理解いただきたい。

委員：いまの答えはたいへん嬉しい。教育保育の一環であるという事は、どの施設においても同様である。長野市民の子どもさんに不平等がおきないように、施設によって格差ができるという事のないようにしていただきたい。

委員：付帯意見の(2)に「認可外保育施設を利用する児童ができるだけ発生しないように」してほしいとの意見がついていることに関して、参考資料のなかの「認可外保育施設」の中の「その他施設」は、おそらく多くの幼稚園だと思うが、いかがか。

事務局：「その他施設」には、幼稚園が行っている認可外保育施設は含まれていない。

委員：委員のみなさまにもご承知おきいただきたいと思うが、幼稚園も2歳児の認可外保育施設を運営しているところが大半である。しかし、過剰供給になるとして保育園に認可されない。そのため、やむを得ず、認可外保育施設をやっているという施設がたくさんある。営利目的という事ではなく、小さい子どもさんたちが入るところがないということで実施しているもので、長野市の指導に見合ったものが数多くある。認可外保育施設は非常に質が劣ったものであるという印象が、(2)の文言から読まれてしまう可能性があるが、必ずしもそうではないことを委員のみなさまにはご了解いただきたい。

イ 次期長野市子ども・子育て支援事業計画について

事務局から、平成30年8月24日に諮問された、このことについて説明があった。

【質疑応答】なし

	(3) その他 なし
その他	5 その他 発議なし